

# 甲賀市予算

令和8年度の市の予算が決まりました。  
『若者・子育て世代』に選ばれるまちをめざし、新しい豊かさにあふれる『甲賀スタイル』の実現に向けた本年度予算の概要をお知らせします。



甲賀市長 岩永裕貴

第2次甲賀市総合計画  
第3期基本計画の2年目となる  
令和8年度は、新しい豊かさの

追求を深め、「甲賀市らしさ」をバックボーンに便利で質の高い暮らしにより生み出された「余白」を、叶えたいライフスタイルで埋めていく、いわゆる「甲賀スタイル」の実現に向け、さらなる取り組みを進めていく、そして本市の次の20年をつくる持続可能な自治体経営を図るための基盤を確かなものとする年と位置づけられています。

5つの重点プロジェクト(若者・子育て応援、こどもの可能性無限大、選ばれるエリア形成、企業連携・支援、安全安心のまちづくり)に優先的に取り組み、4つの視点(地域共生社会の実現、公共施設の合理化、未来への投資、市役所力の強化)をもって本市の強みをさらに伸ばし、課題解決に全力で取り組んでまいります。

また、「若者・子育て世代」に選ばれるまちをめざし、市の独自性、競争優位性を明確にしなが、強みを伸ばす行政運営が推進できるよう、4月から新たな組織機構体制でスタートしていきます。市民の暮らしを最優先に考え、さらなる市政の発展に向け、各種施策の推進にまい進してまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

		予算額			
		令和8年度	令和7年度	前年度比較	
特別会計	国民健康保険	86億1,300万円	87億2,000万円	▲1億700万円	
	後期高齢者医療	28億4,000万円	25億5,300万円	+2億8,700万円	
	介護保険	86億7,400万円	84億9,300万円	+1億8,100万円	
	野洲川基幹水利施設管理事業	3,030万円	5,350万円	▲2,320万円	
	小計	201億5,730万円	198億1,950万円	+3億3,780万円	
企業会計	病院事業	収益的支出	9億8,712万円	9億7,012万円	+1,700万円
		資本的支出	7,008万円	1億2,164万円	▲5,156万円
	水道事業	収益的支出	30億7,564万円	28億4,169万円	+2億3,395万円
		資本的支出	22億6,395万円	20億5,828万円	+2億567万円
	診療所事業	収益的支出	8,951万円	2億3,062万円	▲1億4,111万円
		資本的支出	6,205万円	881万円	+5,324万円
	下水道事業	収益的支出	36億6,127万円	35億8,844万円	+7,283万円
		資本的支出	32億7,671万円	34億8,412万円	▲2億741万円
	小計	134億8,632万円	133億372万円	+1億8,260万円	
	合計	336億4,362万円	331億2,323万円	+5億2,039万円	

## 特別会計・企業会計

特定の事業を行う「特別会計」と上下水道や病院などの収益事業を行う「企業会計」に分類し、運営しています。

## 一般会計



### 一般会計(市の基本となる会計)

一般会計予算総額は、445億円で、令和7年度当初予算から17.2億円減少し、予算規模は対前年度比▲3.7%となりました。

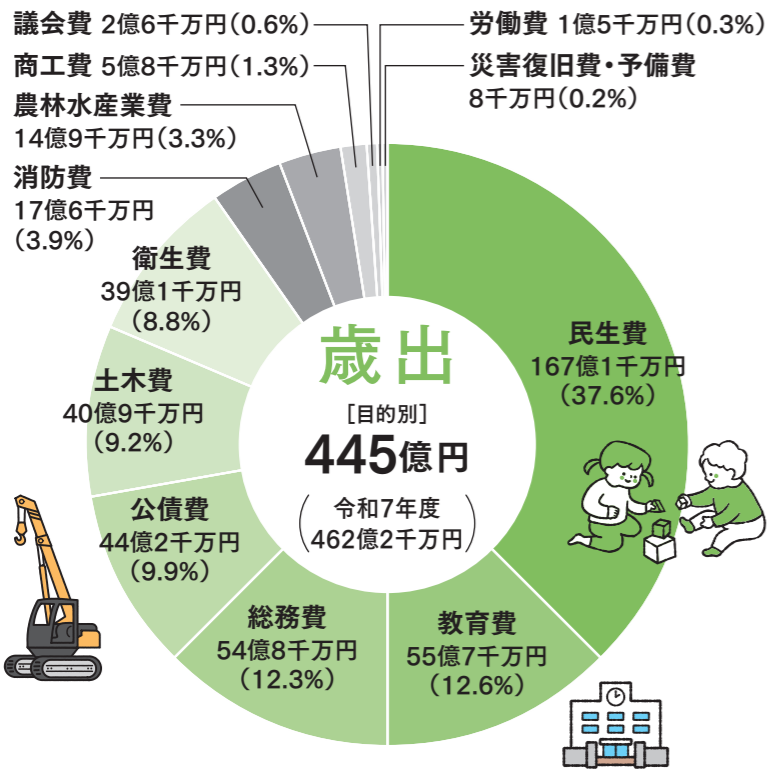
貴生川駅周辺特区構想に基づき、公民連携による駅周辺の再整備を推進するほか、定住人口や駅を利用する人を増やすために虫生野東部土地区画整理事業に取り組みます。また、4月から公立小学校の給食費を無償化しています。

予算のポイント

## 歳出

### 福祉、拠点形成のための施策に重点

昨年度に引き続き、こども・子育てや高齢者、障がい者など、福祉のための費用である民生費の割合が最も多く歳出全体の37.6%を占めています。また、土木費は、貴生川駅周辺整備事業や虫生野東部土地区画整理事業などの影響により増加(昨年度から6億5千万円の増)しています。



※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。

予算のポイント

## 歳入

### 空調設備工事の完了等により市債が減少

歳入予算のうち、市税は152億4千万円(昨年度から2千万円の減)で歳入全体の34.3%を占めています。

市債は、中学校体育館等空調設備整備工事や東部学校給食センターの厨房機器等更新工事が終了したことにより減少(昨年度から5億7千万円の減)しています。

- 自主財源**  
市が自主的に収入することができるもの
- 依存財源**  
国や県の決定により、市の収入となるもの  
市債も依存財源に該当

